

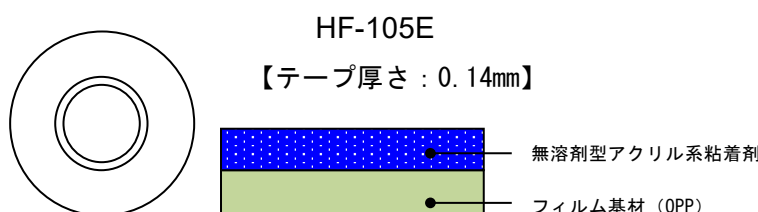
HF-105E

概要

HF-105Eは、無溶剤型のアクリル系粘着剤を使用することで、VOC^(*)放散量を低減し、においを少なくした片面接着テープです。粗面接着性や低温接着性に優れ、金属、プラスチックはもちろん、ウレタンフォームや不織布などの粗面材料にも幅広くお使いいただけます。また、柔軟なOPPフィルム基材を用いているため、凹凸や段差への追従性が良く、また手切れ性もあるため作業性良くお使いいただけます。

(*) VOC：揮発性有機化合物

テープ構成



* VOC放散量が少ない製品であることをひと目でおわかりいただくために、基材背面に「NITTO Low VOCs」と印刷を施しています。

* 「フィルム基材」は、関税定率別表 第39類「プラスチック及びその製品」に分類されます。

特長

- 粘着剤に有機溶剤（トルエン、キシレン、酢酸エチルなど）を使用しておりません。
- VOC放散量を低減し、においを少なくした片面接着テープです。
- 粗面接着性や低温接着性に優れ、様々な被着体へ良好に接着します。
- RoHS指令10物質を使用しておりません。

用途例

- 自動車天井材向けハーネス固定。
- マスキングテープや養生テープでは付きにくい材料や被着体への固定に
- コンクリートやカーペットに対する、位置決めテープやバミリテープとして
- 手切れ性があり、作業性を重視する施工部材として

標準サイズ

テープ厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (m)
0.14	20~1000	50

詳細は弊社営業担当者までお問い合わせください。



HF-105E 10-P-0466_J (1 / 5)

ご注意：本データは、測定値の一例であり保証値ではありません。また、本書記載の用途への適合性を保証するものでもありません。ご使用いただく前に、被着体（テープに貼り合わせる材料）との適合性をご確認の上、ご利用検討をお願いいたします。なおこの文書に含まれる内容についての著作権などの権利は当社にあります。当社に無断での複写・転載その他の目的外のご使用は固くお断りいたします。不明な点は、この文書末尾に記載の窓口にお問い合わせください。

特 性

●VOC放散量測定値

測定物質	HF-105E	トルエン系 片面テープ
トルエン	21	510

(単位：μg/g)

試料サイズ：5cm²

加熱条件：80°CX30分間

検出機器：GC-MS

●180°引き剥がし粘着力 —被着体別—

被着体	HF-105E
ステンレス板	16.5
アルミニウム板	14.5
ABS板	16.0
ポリプロピレン板	14.0
アクリル板	17.0
PCABS板	16.5
ポリスチレン板	18.0
ポリカーボネート板	17.0
HIPS板	18.0
PET板	12.0
ポリアセタール板	11.0
ガラス板	10.0
ベニヤ板	10.0
エーテル系ウレタンフォーム	2.5※
エステル系ウレタンフォーム	10.0※
チップウレタン	3.5※
自動車天井材	23.0※
PVCシート	20.0

(単位：N/20mm)

試験片：20mm幅

圧着方法：2kgローラー1往復

圧着温度：23°C/50%RH

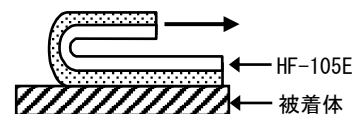
養生条件：23°C/50%RH×30min

引張速度：300mm/min

引張角度：180°

測定温度：23°C/50%RH

〈試験方法〉



※被着体破壊

HF-105E 10-P-0466_J (2 / 5)

ご注意：本データは、測定値の一例であり保証値ではありません。また、本書記載の用途への適合性を保証するものでもありません。ご使用いただく前に、被着体（テープに貼り合わせる材料）との適合性をご確認の上、ご利用検討をお願いいたします。なおこの文書に含まれる内容についての著作権などの権利は当社にあります。当社に無断での複写・転載その他の目的外のご使用は固くお断りいたします。不明な点は、この文書末尾に記載の窓口にお問い合わせください。

●180° 引き剥がし粘着力 —温度別—

温度	HF-105E
-20°C	23.5
-10°C	22.0
0°C	22.0
10°C	20.5
23°C	16.5
40°C	13.0
60°C	14.0
80°C	10.0
100°C	9.5

(単位：N/20mm)

試験片：20mm幅
 被着体：ステンレス板
 圧着方法：2kgローラー1往復
 圧着温度：23°C/50%RH
 養生条件：各測定温度×30min
 引張速度：300mm/min
 引張角度：180°
 測定温度：-20、-10、0、10、23、
 40、60、80、100°C

●180° 引きはがし粘着力 —圧着後の経時変化—

圧着後の経時	HF-105E
1分後	15.0
30分後	16.5
24時間後	17.0
48時間後	17.5
72時間後	17.5
168時間後	18.5

(単位：N/20mm)

被着体：ステンレス板
 試験片：20mm幅
 圧着方法：2kgローラー1往復
 圧着温度：23°C/50%RH
 養生条件：23°C/50%RH×1分、30分、24時間、
 48時間、72時間、168時間
 引張速度：300mm/min
 引張角度：180°
 測定温度：23°C/50%RH

●180° 引きはがし粘着力 —圧着力別—

圧着	HF-105E
0.1kgローラー	14.0
0.5kgローラー	14.0
2kgローラー	16.5
5kgローラー	16.5

(単位：N/20mm)

被着体：ステンレス板
 試験片：20mm幅
 圧着方法：0.1kg、0.5kg、2kg、5kgローラー1往復
 圧着温度：23°C/50%RH
 養生条件：23°C/50%RH×30min
 引張速度：300mm/min
 引張角度：180°
 測定温度：23°C/50%RH

HF-105E 10-P-0466_J (3 / 5)

ご注意：本データは、測定値の一例であり保証値ではありません。また、本書記載の用途への適合性を保証するものでもありません。ご使用いただく前に、被着体（テープに貼り合わせる材料）との適合性をご確認の上、ご利用検討をお願いいたします。なおこの文書に含まれる内容についての著作権などの権利は当社にあります。当社に無断での複写・転載その他の目的外のご使用は固くお断りいたします。不明な点は、この文書末尾に記載の窓口にお問い合わせください。

●180° 引きはがし粘着力 —貼付後、各環境下にて養生（耐久性）—

条 件		HF-105E
初期 (23°C/50%RH × 30min)		16.5
-30°C × 30日		16.0
80°C	1日	24.0
	7日	29.0
	14日	27.0
	30日	28.0
40°C/92%RH	14日	17.0
	30日	15.0
60°C/90%RH ※	14日	20.0
	30日	16.5
ヒートショック [100 サイクル]※ ¹		29.0
ヒートサイクル [40 サイクル]※ ²		19.0

(単位 : N/20 mm)

被着体 : ステンレス板
 圧着方法 : 2kg ローラー 1 往復
 圧着温度 : 23°C/50%RH
 養生条件 : 左表参照
 引張速度 : 300mm/min
 引張角度 : 180°
 測定温度 : 23°C/50%RH

※1 : ヒートショック条件
 [-40°C × 30min ⇄ 90°C × 30min] × 100 サイクル

※2 : ヒートサイクル条件
 [-20°C × 6hr ⇒ (1hr) ⇒ 60°C/95%RH × 6hr ⇒ (1hr) ⇒]
 × 40 サイクル

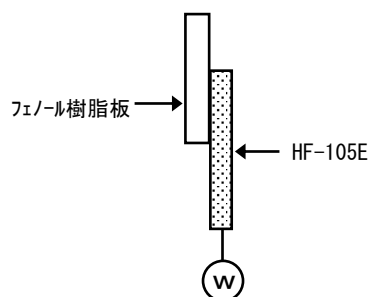
各環境下から取り出し、23°C/50%RH × 24hr 後に測定
 ※サンプルについては 3day 後に測定

●保持力

測定温度	HF-105E
23°C	0.6
40°C	0.8

(単位 : mm/hr)

被着体 : フェニル樹脂板
 貼付面積 : 10mm × 20mm
 圧着方法 : 2kg ローラー 1 往復
 圧着温度 : 23°C/50%RH
 養生条件 : 測定温度 × 30min
 測定温度 : 23、40°C
 荷重 : 4.9N (500g)
 負荷時間 : 1 時間



HF-105E 10-P-0466_J (4 / 5)

ご注意 : 本データは、測定値の一例であり保証値ではありません。また、本書記載の用途への適合性を保証するものでもありません。ご使用いただく前に、被着体（テープに貼り合わせる材料）との適合性をご確認の上、ご利用検討をお願いいたします。なおこの文書に含まれる内容についての著作権などの権利は当社にあります。当社に無断での複写・転載その他の目的外のご使用は固くお断りいたします。不明な点は、この文書末尾に記載の窓口にお問い合わせください。


使用上の注意

- 被着体の表面の油分・水分・ゴミなどは、きれいに除いてください。
- 感圧性粘着剤ですので、圧着はローラー・またはプレスにて十分行ってください。
圧着が不十分な場合、特性及び外観に影響を与えます。
- 凹凸面や歪みの大きいものにはきれいに接着しない場合があります。できるだけならしてください。
- 貼り付け後数時間はテープに大きな力がかかる置き方や使い方は避けてください。

保管の注意

- 必ず箱に入れて保管してください。
- 保管場所は直射日光の当たらない冷暗所を選んでください。

安全上の注意

 注 意
<ul style="list-style-type: none">●使用に際しては、本製品が用途(目的・条件)に適応するか、十分検討の上、ご使用ください。 被着体や貼りつけ条件によっては、はがれたりする可能性があります。●事故につながる可能性がある場所などに使用する際は、他の接合方法と併用してください。

2020年12月発行

- 問合せ先 …テクニカルサポートセンター接合材料グループ T-CAT
E-mail : tcac@nitto.co.jp TEL : 0532-41-8400 FAX:0532-41-8473

HF-105E 10-P-0466_J (5 / 5)

ご注意：本データは、測定値の一例であり保証値ではありません。また、本書記載の用途への適合性を保証するものでもありません。ご使用いただく前に、被着体（テープに貼り合わせる材料）との適合性をご確認の上、ご利用検討をお願いいたします。なおこの文書に含まれる内容についての著作権などの権利は当社にあります。当社に無断での複写・転載その他の目的外のご使用は固くお断りいたします。不明な点は、この文書末尾に記載の窓口にお問い合わせください。